

～実践記録～

1. 学校名：宮崎県 綾町立綾中学校

2. 対象：全校（195名：1年生70名 2年生62名 3年生63名）
（学年・人数）

3. 活動内容

(1) 活動名

SDGs 達成に向けた活動の実施報告

(2) 活動の目標

生徒会スローガン「lead ～綾中が導く持続可能な世界～」の達成に向けて

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 多様性（多種多様な現象が起きていること） | <input type="checkbox"/> 公平性（一人ひとりを大切に） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性（関わりあっている） | <input checked="" type="checkbox"/> 連携性（互いに連携・協力すること） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 有限性（限りがある） | <input checked="" type="checkbox"/> 責任制（責任を持って） |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | |

②育成する資質・能力

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input checked="" type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4) 関連する SDGs と (5) 活動の内容

①総合的な学習の時間の実施報告

○1年生

- ・本来は自然への探究をテーマにフィールドワークを中心とした調べ学習を行うが、前期はコロナ感染症拡大のために、今年度はエコパークセンターの協力をもとに、調べ学習を中心とした。(SDGs13, 14, 15)
- ・新聞紙でエコバッグを作成し、地元の有機農産物販売所に寄贈した。(SDGs12)
- ・リモートセンシングを利用して、綾ユネスコエコパークイオン森における炭素蓄積量を算定した。(SDGs13, 15) 【写真1】



○2年生

- ・人（街）への探究を大きなテーマに、自分たちで班ごとのテーマを決め、綾町の産業や事業所をインタビューをするなどして、よりよい町づくりの提案を考えている。【写真2】
- ・本来は、修学旅行先の街との比較を行うことで町作りを考えてきたが、今年度は自分の町のフィールドワークのみを行った。(SDGs8, 11)



○3年生

- ・本来は自分への探究をテーマに、職場体験をするが、コロナ感染症拡大のため中止になった。そこで、代替活動としてユニクロの服のチカラプロジェクトを中心に組み込んだ。(SDGs12, 17) 【写真3】
- ・綾町子ども議会へ出席し、2年生から取り組んでいた研究を元に、よりよい町づくりのための提案を綾町職員に向けて発表した。(SDGs8, 11)

②生徒会活動について

生徒会スローガン「lead～綾中が導く持続可能な世界～」の達成に向けて、実施している活動の報告

- ・生徒総会の SDGs 達成を議題とした話し合い(SDGs17)
- ・各委員会と SDGs とのつながりを持たせた活動
- ・ペットボトルキャップ回収(SDGs3, 12)
- ・コンタクトレンズ空ケース回収(SDGs12)
- ・使い捨てカイロ回収 等(SDGs12, 13, 14)
- ・高校と合同でのリーダー研修の実施【写真4】



【写真1】



【写真2】



【写真3】



【写真4】

4. 活動の成果

○総合的な学習の時間

3年間を見通した ESD の根幹を担う体系的な学習計画となっているが、コロナ感染症の影響で実施できない活動が多くあった。その中で、世界貢献、SDGs 達成という共通の目的を一貫して持ち、リサイクル活動やボランティア活動等を中心とした代替学習(活動)を行った。目的を明確にすることで、相互性や連携性を意識させながら、持続可能な社会の担い手として必要な資質や能力の育成に努めるとともに、生徒の意識も高まった。

○生徒会活動

昨年度の生徒会スローガン「Move～綾中からつなぐ持続可能な世界へ～」の流れを引き継ぎ、今年度も「lead～綾中が導く持続可能な世界へ～」と、「持続可能な社会」をテーマとしたスローガンが生徒達によって決定された。それを元に、生徒総会の中で出た取組案(エコバッグ作成、使い捨てカイロ回収等)を、生徒会を中心に実現していくことで、他者と協力する力や進んで参加する力が高まったといえる。

5. 指導方法・体制の工夫

- ①綾町エコパークセンター
- ②綾町の各事業所